



国際日本学副専攻を履修しましょう！

Let's do a minor!

Global Japan Studies!

◆「副専攻」って何？

自分が所属する学部・学科の専門（主専攻）に加えて、現代的関心に即した目的をもって横断的に別の分野を学び、視野を広げるために作られた制度です。

所定の要件を満たすことで「修了証書」が交付されます。副専攻で取得した単位は所属学部・学科を卒業単位に算入できますので、大幅に多くの単位を取る必要はありません。

◎どんなプログラム？

グローバル化する世界で活躍するための基礎を身につけるプログラムです。国際的・相対的視点で見た日本の社会・文化・政治・経済に関する知識と自身の専門分野に関する知識を英語で理解し発信する力を養います。

外国留学経験者が異口同音に語る「日本のことをもっと学んでおけばよかった」、「英語をちゃんと学んでおくんだった」という反省をしないで済むように、1・2年生時から計画的に履修できるプログラムになっています。

◎修了証書をもらうには？

・履修開始には TOEIC550点以上 が必要です。

① 必修選択科目を合計 6単位以上 履修します。

基本的に英語で行われる“Global Japan Studies”の講義と演習、及び、海外研修科目の単位が必要です。

② 在学中に履修する全授業中、英語によって実施される授業科目の単位が合計で 12単位以上 となるように履修します。

③ 最終的に TOEIC730点以上（もしくは他の外部英語試験の同等の資格）を取得します。

→以上の3つの要件を満たした方に、修了証書が授与されます。

◎メリットは？

1. 実践的な英語力が身につきます。

2. 審査の上で毎年2名の学生に10万円が支給されます（返還不要）。

3. 英語で行われる授業には留学生が多く参加しているので、留学生と知り合うチャンスが増えます。

4. 就職活動等でもアピールポイントになります。

大半の企業や官庁が「十分な英語力」の基準にしている TOEIC730点以上 取得が修了要件です（例えば、国家公務員採用総合職試験では総得点に25点が加算されます）。

問い合わせ先：人文社会科学部学務係（共通L棟ゼロ階） 054-238-4485

1. 必修選択科目

区分	小科目区分	授業科目	単位	履修年次	必要単位	備考
専門科目	学部共通 専門科目	Basic Lecture in Global Japan Studies I	2	1~3	4単位以上	TOEIC550点以上取得者が履修できる。基本的に英語を使用。
		Basic Lecture in Global Japan Studies II	2	1~3		
		Basic Seminar in Global Japan Studies I	2	2~4		
		Basic Seminar in Global Japan Studies II	2	2~4		
		Seminar in Global Japan Studies I	2	3・4		
		Seminar in Global Japan Studies II	2	3・4		
		海外研修I	1	1~4	2単位以上	ABP留学生は「ABPインターンシップ」をもって左記単位とする
		海外研修II	1	1~4		
		海外研修III	2	1~4		
		海外研修IV	2	1~4		
		海外研修V	4	1~4		
		オンライン留学I	1	1~4		
		オンライン留学II	2	1~4		
教養科目	英語	英語海外研修A	2	1~4	6単位以上	
		英語海外研修B	2	1~4		
	学際科目	ABP海外研修I	2	2~4		
		ABP海外研修II	2	2~4		
		ABP海外研修III	2	2~4		
必修選択合計					6単位以上	

2. 英語で実施

区分	小科目区分	授業科目	単位	履修年次	必要単位	備考
教養科目 専門科目	すべて	(科目一覧、シラバス等で確認)	-	1~4	12単位以上	上記の必修選択、選択科目を含め、在学中の全取得単位のうち、基本的に英語で実施される授業科目を、合計12単位以上になるよう履修。

3. TOEIC もしくはそれに相当する外部英語試験点数

TOEIC	TOEFL (iBT)	IELTS	実用英語技能検定 (英検)
730点以上	80以上	6.5以上	準一級以上

* 以上の1~3の要件をすべて満たした者が「国際日本学副専攻プログラム履修証」を授与される。

* 2の「英語で実施される授業科目」とは、講義で使用される言語が基本的に英語主体である科目を言い、単なる英語講読や英作文等は含まない。人文社会科学部専門科目別表に掲載されていない科目（他学部、他大学で取得して認定された単位を含む）であっても、シラバス等を提示することで認定を受けることができる。

* 上記全ての単位について、各学部学科等において卒業単位にならない場合でも、単位取得可能とする。

* グローバル・アジア特別教育プログラム（全学）との重複履修可。グローバル・アジア特別教育プログラム履修のためにカウントされる科目を含めても構わない。詳しくはグローバル・アジア特別教育プログラムの概要を参照のこと。